

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年4月4日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙 小嶋修一（TBS 解説委員、医療担当）		
検証テーマ： オープニング、総理と財務相が会談 【特集】 どうなる？緊急事態宣言		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・【速報】 東京で過去最多の感染者 ・自粛の週末 ・オープニング ・新型コロナの感染拡大 ・在日アメリカ大使館が滞在中のアメリカ人に「直ちに帰国を」 ・ビールの「コロナ」精算一時停止 ・総理と財務相が会談 ・岡崎医療センターで開院式 ・「森三中」黒沢かずこさんが新型コロナウイルスに感染 ・令和のサクラ ・警視庁赤坂署の女性刑事が新型コロナに感染確認 ・感染拡大に児童養護施設の懸念 ・【特集】 どうなる？緊急事態宣言 ・【特集】 医療現場と新型コロナへの備え ・【特集】 新型コロナ～希望の道は ・スポーツ報道 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング：結論→特に問題なし 番組冒頭で金平キャスターが「ええ、大山鳴動してマスク2枚、政府は全世帯に2枚の布製マスクを配布するそうです、さらに所得が相当下がった世帯に30万円の給付金を支給するそうですが、自己申告制で全体像が曖昧です、ドイツなどと比べて大きな差を感じます。こうした中、東京都では118人の新たな感染者が出ています。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は25秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・総理と財務相が会談：結論→特に問題なし 膳場キャスターによって「日本政府の動きです、安倍総理は新型コロナウイルスをめぐる緊急経済対策の取りまとめに向け、麻生副総理兼財務大臣と会談しました。政府与党は感染拡大を受けた緊急経済対策として所得が落ち込んだ世帯などに現金30万円を支給する方針です。対象については住民税の非課税世帯や一定の所得制限を定めた上で月収が5割程度下がった世帯などとする事で調整に入っています。今日の会談はおよそ1時間に渡り行われ給付のあり方や財政支出の規模などについて詰めの協議を行ったものと見られます、政府は来週7日にも緊急経済対策を閣議決定する方針です。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は50秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 		

・【特集】 どうなる？緊急事態宣言：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「特集です。新型コロナウイルスの感染の拡大が、感染の確認が東京を中心に急増する中、政府による緊急事態宣言が、大きな焦点となっています。」との発言に金平キャスターが「その一方で、経済活動は停滞。日々の暮らしが危機的になった人も多くいます。自粛の街取材しました。」と応え、以下に朱記した特集の VTR が取り上げられた。

小池都知事「感染爆発の重大局面。」

小池都知事「この 局面は変わっておりません。どころか、より深刻になっています」

ナレ「感染者の数がさらに急増した東京。全国各地でクラスター、集団感染が発生した。」

安倍総理「必要な状況になれば、躊躇なく緊急事態宣言を行う所存です。」

ナレ「最大の焦点となった緊急事態宣言。」

ナレ「一方、街では・・・」

金平「お客さんの出足ってどうか、客足はどうですか？」

店の人「ご覧の通りなんですよ。朝から 閉店間際までこのまんま」

(CM)

ナレ「今週国に緊急事態宣言を出すように求める声が相次いだ。」

大阪府 吉村洋文知事「国としては、僕は緊急事態宣言を出すべきタイミングだと思います。でこれを逃して遅れた後には、もう手に負えない状態になってる」

東京都小池知事「状況についてはですね、あの、ギリギリということ を 申し上げております。 国家としての判断ということが、今求められているのではないかと思います。」

ナレ「総理大臣による緊急事態の宣言。政府が期間と区域を決定し、対象となった都道府県の知事に強い権限を持たせ、個人の権利、私権を制限できる。スポーツイベントなどの開催制限を要請・指示できるほか、臨時の医療施設を開設するために、土地や建物を強制的に使用することも、可能となる。医薬品や食品などの売渡を、要請したり収用することもできる。」

"ナレ「安倍総理は、」

安倍総理「少しでも気を緩めればいつ拡大してもおかしくない。まさに瀬戸際が継続している状況にあると、考えておりますが、 必要な状況になれば、躊躇なく緊急事態宣言を行う所存です。」 "

ナレ「こうした中、総理肝いりの政策として打ち出されたのが、」

安倍総理「来週決定する緊急経済対策に、この布マスクの買い上げを盛り込むこととし、一住所あたり 2 枚ずつ、配布することといたします」

ナレ「布製のマスクを全ての世帯へ配布 するというのだ。1 枚 200 円程度で、費用は単純に計算しても、およそ 200 億円となる。」

ナレ「さらに昨日、」

自民党岸田文雄政調会長「一世帯 30 万円、支給するべきであると、言うことを、申し上げました」

ナレ「所得が落ち込んだ世帯などに、現金 30 万円を支給する方針も明らかになった。政府関係者によると、対象を住民税の非課税世帯や、月収が 5 割程度下がった世帯などとするという方向で調整しているという。」

ナレ「街は今どうなっているのか」

金平「えー上野のアメ横に来ました。年末などは、立錫の余地もないくらい人々がこう、集まってですね、密集する場所ですけども、今日はご覧のように客足少ないですね。」

ナレ「生鮮食品から衣料品まで、およそ 400 店舗が軒を連ねる東京上野のアメ横商店街。」

金平「ここで、これからお客さんとか、あるいは、店の方にちょっと聞いてみようと思いますが、以降マスクをいたします。」

金平「お客さんの出足はどうですか？」

男性「ご覧の通りなんですよ。朝から閉店間際までもうこのまんま。」

金平「どのくらい減りました？」

トルコ人っぽい男性「今公園も閉まってるし、お客さんは全然、人が外に出ないですね。」

ナレ「本来ならこの時期は花見客などで、平日でも一日 4、5 万人が訪れるというが、」

男性「今、ほらもう花見で本当はわんさかしてるんですけども、かなり、1/10 以下くらいに、なってるんじゃないですか」

金平「すごい減ってる？」

男性「口で言わなくても見りゃ分かんたろ。論より証拠。でもでもしょうがないでしょ。開けてもダメ開けなくてもダメ。」

金平「売り上げはやっぱり去年と比べるとだっーと減ったでしょ？」

男性「減ったなんてもんじゃないよ。1 割も行けばいい。」

ナレ「客足は、1 月下旬から徐々に遠のき、先週小池都知事が、週末の不要不急の外出自粛を要請してから、激減したという。」

金平「ここは本当だ。これも臨時休業だ。」

ナレ「この事態に、休業する店も出始めた。店を開けている人たちも、売り上げが見込めず、商売の先行きが見えないと口をそろえる。」

金平「今ね東京都とか、国に、何をして欲しいですか一番。」

男性「安倍政権が、とにかく決断しなければいけないんじゃないですか。」

金平「決断？」

男性「要するにも非常事態宣言を出すなり、そういう保証をほら、どうにか、わけわかんないでなんかこう、議論してますけど、それをはっきりさせてもらわないことには、うちらもどうしようもないわけですから。」

男性「マスクなんていらないうち、お金が回ってないんで、人が出てこないって言うか、お金が回らないんで、だからね、お客さんが来ないから結構を休業しているお店も、入っているんで、」

金平「だよねそうですね。」

ナレ「小池知事は今週、夜間の外出自粛について、こう強調した。」

小池都知事「若者の皆様方には、カラオケ・ライブハウス、そして、中高年の方々につきましては、バーやナイトクラブなど、接待を伴います飲食店などに行くことは、当面お控えいただきたい。」

ナレ「発言は東京都知事としてのものだったが、その衝撃は地方都市にも広がった。」

金平「えー東京都の小池知事が出した、夜間の外出自粛要請ですけども、ここは栃木県の宇都宮市ですけども、繁華街こういうところにまで、影響が及んでいます」

ナレ「宇都宮はカクテルの町としてアピールしてきた。全国大会で優勝するほど腕のいいバーテンダーが多い。」

金平「こんばんは。どうも。」

ナレ「この地で 40 年以上カクテルを作り続けるバーテンダーの山野井有三さん。客も収入も 1 割ほどに減ったという。」

山野井さん「こういう個人店のちっちゃい店は、もう無理です。あの発言はもう終わりです。商売には全くなら

ないです。」

ナレ「小池知事が会見で語った、バーという言葉が、決定打になったと山野井さんは言う。」

山野井さん「運転資金が、もうない。無くなっちゃいます。仕入れたものはまあ先月の分が今月きてますから、今月はどうせ仕入れしないからかかからないですけど、家賃水道光熱費基本料がかかりますよね。当然払わなくちゃいけないことですから、それが終わったら自分の貯金を崩すようですね。それが終わったら店をやめます。」

ナレ「バーテンダーの団体のトップでもある山野井さん。全国にいる仲間達も、同じように苦境に立たされているという。」

金平「もうこんなこと聞くの、失礼ですけども、どのぐらいもつと思いますか？」

山野井さん「お店ですか？」

山野井さん「はい。このままでいったらもうあつという間ですよ。あの発言があつてから、もう名指しですからね。持たないですよ。要は行くなつてことですよ。もう無理ですよ持たないですよ。」

特集のVTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

膳場「うーん金平さんあの。 普段人で溢れかえっているアメ横があんな状況。ね、こんな事態っていうのは初めてですから、客足が止まった商店ってのも、本当に大変ですよ？」

金平「ね、ねあんなのは見たことがないですけども、その自粛要請ですからね。要請だけで非常に多くの人たちが、きちんと素直に外出を控えてるっていうですかね、そういう日本人のメンタリティが出てるといことなんですけども、そのために、こう、非常に痛切な、ダメージを、店主とか、あの、アメ横の人とかですね、という街の声って非常に切実だったんですね、今日も土曜日で少ないようですけども、これで 緊急事態がでるとすればですね、ほとんど町が無人状態になっちゃうんじゃないかなって、そういう被害をきちんと前もって、政府が救えるようにですね、今からきちんと準備をしておくべきだと思いますけどね。」

膳場「はい」

この特集に当てられた時間は 665 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・オープニング

金平キャスターはドイツなどを引き合いに出し安倍政権の対策を不十分としていたが、ドイツのような財政優良国と日本のような慢性的な財政赤字国とでは、政策に幅があるのも当然であり、ドイツとの大きな差というのは平時の財政規律の差がそのまま出ているとも言えるだろう。

そもそも、国債発行というのは将来的に償還が可能であると信じられていることこそが前提である。だからこそ、平時において財政規律が維持されているような国であればこそ緊急事態において大胆な政策が打てるのであって、日本においても緊急事態でドイツ並みの政策を期待したいのであれば、平時において規律ある財政が運用されていることが重要だということを忘れてはならないだろう。

・【特集】 どうなる？緊急事態宣言

スタジオで金平キャスターが「あんなのは見たことがないですけども、その自粛要請ですからね。要請だけ

で非常に多くの人たちが、きちんと素直に外出を控えてるって言うですかね、そういう日本人のメンタリティが出てるといことなんですけども、」とコメントしていたが、本当にそれは「日本人のメンタリティ」なのだろうか。

これまで再三再四に渡って不要不急の外出自粛の要請が出されていたが、それでも自粛疲れが取り上げられたり、自粛下でも外出する人たちとして若者が取り上げられたりしていた。そこで取り上げられている人たちも「日本人」なのだから「日本人のメンタリティ」というのだけでは説明できていないように思える。

また、説明しにくいことについて「〇〇人のメンタリティ」だとか「〇〇人の精神性」というように言うのは楽かもしれないが、それは偏見であるとかヘイトスピーチを助長することにもつながってしまう恐れがあるのではないだろうか。